

## 9月定例会

# 「町民のバス購入費」を補正 「財政健全化判断比率」の改善を報告

9月定例会が、9月18日から26日までの7日間にわたり開催され、教育委員の選任案、平成24年度各会計補正予算案などの14議案と報告3件の計17件が提案、可決されたほか、23年度歳入歳出決算について認定されました。



より表彰状を、また、県警本部長からは頭影の伝達を受けております。

また、交通安全思想の普及や交通安全の確保に顕著な功績のあった個人や団体、市町村を表彰する平成24年度内閣府交通安全功労者表彰において、住民ぐるみの交通安全活動や10年以上にわたる交通事故防止活動が認められ、本町が内閣府特命大臣表彰を受けることになりましたので報告します。

### ◆水稲の作柄状況・農林業関係の事業進捗について

秋田県北部の作柄概況は、平年並みとなつています。しかし、8月23日の管内における生育調査では、1㎡当たりの穂数が470本と前年を65本程上回っているものの、1穂の着粒数は70・6粒(平年比94・9%)、1㎡当たりの籾数が3,000粒で前年を下回っています。

また、この秋から稼働するJAあきた白神カントリエレベーターの利用状況ですが、全体で324ha(計画の72・1%)となつています。うち、藤里町農家は、22戸47・42haで、全農家の約1割が利用することになっています。

今年度の米の概算払金額については、昨年度と同額の一万四千元に決定されています。

一方、野菜の動向ですが、春先の山ウドは数量、生産量が少ないことから販売額は計画を下回っています。

ネギについては、天候の影響と猿被害により収量が落ちたほか鍋物の需要が少なく野菜価格が低迷したため、8月末の販売額は計画を下回っています。トマトや小ナスについては、契約栽培もあり、数量、金額とも上回っています。

3年目を迎えたリンドウについては、160,030本の出荷本数となっています。販売額は、9,737千円、平均単価58・6円と、昨年の販売額を大きく上回っています。

白神ラム生産拡大事業では、北海道焼尻島より、種綿羊2頭、繁殖用50頭、肥

育用25頭の77頭を導入しています。長距離の移動や環境の変化、夏の猛暑のため、放牧を見合わせる等して管理を万全にしていましたが、繁殖用2頭、肥育用2頭の4頭が衰弱死してしまいました。県家畜保健衛生所に解剖を依頼し、原因を調査していますが、引き続き管理を万全にして事故の抑制に努めていきます。

また、本年2月に藤里町鳥獣被害対策協議会を立ち上げ、ニホンザルによる農作物の被害防止に努めてきました。これまでの捕獲頭数は、11頭と昨年の実績を上回っていますが、被害が拡大していることから、新たな対策も必要であると考えます。また、ツキノワグマにつきましては、出沒箇所が10カ所にも及び居住地に近づきつつあることから、これまでに3カ所に檻を設置して2頭を捕獲しました。さらに檻を5カ所に設置するとともに出沒箇所看板を設置するなどして注意を呼びかけています。

### ◆県との未来づくり協働プロジェクトについて

この事業について、町の基本的な考え方と方針について報告します。

本町はこれまで、中心産業である農業の振興策として、生産基盤の整備を軸としながら、白神和牛をはじめ、水、ワイン、綿羊、マイタケ、鮎、わさびなどの特産品の開発に力を入れ、町を訪れる観光客に提供するための施設や宿泊施設など受入体制の整備を図ってきました。これまでの事業を検証してみますと、費用対効果の面や事業収益といった点では、

## 行政報告

### ◆交通死亡事故ゼロ 4000日達成について

藤里町は、8月7日をもって交通死亡事故ゼロ4000日を達成しています。8月10日に当町議場において秋田県知事